



サッカーにゴルフ… スポーツを積極支援

2001年から、地元・埼玉のJリーグチーム「大宮アルディージャ」のメディカルサプライヤーに（現在はトップパートナー）。女子プロゴルフ、藤田光里プロ、渡邊彩香プロ、田村亜矢プロ、森田遥プロのスポンサーとなっている。いずれも富士薬品の提供するサービスとスポーツの親和性があることからのサポートである



内田プロ、佐藤プロと 所属契約！ 奈良プロとは スポンサー契約

テニスのプロ選手への支援も行っている。所属契約を交わしているのは内田海智プロ、佐藤久真莉プロ。さらに奈良くるみプロとのスポンサー契約を交わしている

今年4月、所属プロとなった
佐藤久真莉プロ



高いポテンシャルを持つことで
知られる内田海智プロ

日本女子テニス界を引っ張る
奈良くるみプロ

国内でITF2万5,000ドル大会を3大会協賛。日本選手にチャンスを作っている

2016年からスタートした 「富士薬品セイムス ワールドチャレンジプログラム」

「世界を目指すジュニアを応援したい」という富士薬品・高柳昌幸社長の想いから、2016年に始動した「富士薬品セイムスワールドチャレンジプログラム」。富士薬品セイムス ガールズカップ出場者の中から、遠征メンバーを選出し、海外遠征の支援を行っている。

2017年からはITF大会「富士薬品セイムス ウィメンズカップ」も開催。日本人プロ選手にとって、またとない舞台である。同大会でワイルドカードを得た光崎 濤プロ（プログラム出身として初のプロ選手）が、ポイントを獲得し、世界にチャレンジする権利を得ている。



2016年に行った高柳社長へのインタビューの中で、「弊社は、生涯スポーツであるテニスと、弊社の提供するサービスの親和性を鑑み、テニス界に継続的な支援を行ってきました」と語っている。継続的。それがいかに価値があり、重要なことか？「富士薬品セイムスワールドチャレンジプログラム」は、徐々にその成果が表れてきている。同社の事業と共に、ますます魅力的な展開が待っているに違いない。

2001年からは、地元埼玉のサッカー・Jリーグチームの大宮アルディージャのメディカルサプライヤーに（現在は、トップパートナー）。さらに女子プロゴルフ、藤田光里プロ、渡邊彩香プロ、田村亜矢プロ、森田遥プロのスポンサーとなっている。

テニスのみならず 他のスポーツも積極支援

「富士薬品セイムスワールドチャレンジプログラム」以外にもテニスへの支援を行っている。内田海智プロ、佐藤久真莉プロとの所属契約に加え、奈良くるみプロとはスポンサー契約を結んでいる。さらに、他のスポーツでも同社は積極的に支援を行っている。

富士薬品。その根底には、同社のCMや広告で使われているキャッチフレーズ「元気、いっしょに！」の想いがある。

Fuji Yakuhin

元気、いっしょに！

富士薬品のヒミツ

世界を目指すジュニアをサポートする「富士薬品セイムス ワールドチャレンジプログラム」、その選手たちの選考の舞台となる大会「富士薬品セイムス ガールズカップ」、そしてITF大会の「富士薬品セイムス ウィメンズカップ」を開催し、日本のテニス・シーンの中で存在感を増してきている富士薬品。その母体は、一体どんな会社なのだろうか！



1930年、富山で創業 「配置薬」こそが 富士薬品の原点

「配置薬」こそが、富士薬品のアイデンティティ。1930年の創業以来、日本人の元気を支えてきたと言ってもいいだろう。現在は320万軒もの顧客がいる。皆さんのお家にも、富士薬品の救急箱があるという人も数多いだろう。



“地域で一番信頼されるドラッグストア”がコンセプト。グループ店舗数は1,300店舗超！医薬品や食品などを扱う。そして自社工場（富山市）で製造した医薬品も同店舗で販売しており、製販一貫体制を確立している。正に日本人の元気を支えるドラッグストアと言える



全国1,300店舗超！コンセプトは 「地域で一番信頼されるドラッグストア」



「富士薬品セイムスワールドチャレンジプログラム」を支援
「世界を目指すジュニアを応援したい」という富士薬品・高柳昌幸社長のひと言から、すべてがスタートした。プロを目指すジュニア選手のサポートも重要。ということで、2016年にスタートした「富士薬品セイムスワールドチャレンジプログラム」は、富士薬品セイムス

「ログラム」は、富士薬品セイムスガールズカップ出場者の中から、遠征メンバーを選出し、海外遠征を実施。すでに全国選抜ジュニア優勝（TEAM2006・齋藤咲良、TEAM2007・辻岡史帆）、全日本ジュニア優勝（TEAM2005・光崎 濤、TEAM2007・後藤母衣）、ジュニアオレンドンボウル3位（TEAM2006・木下晴結）など、着

実に成果が上がってきている。さらに、2017年からはITF大会「富士薬品セイムスウィメンズカップ」も開催。日本人プロにポイント獲得のチャンスを提供することはもちろん、将来への可能性がある選手に、ワイルドカードを与えるなど、世界にチャレンジするための絶好の機会を作る具体策も進めている。富士薬品」という名前、松岡修造

さんが出演するテレビCMや広告、同社が手掛けるドラッグストアなど、恐らく多くの方が聞いたことがあると思う。

同社のスタートは、1930年まで遡る。富山県富山市にて配置薬販売事業を創業したことがきっかけ。そして1954年には、埼玉県さいたま市に本拠を移して法人化。皆さんの家にも「富士薬品」と名前の入った救急箱があるかもしれない。救急箱を無料で届け、使用した薬の分のみ定期的に精算。使わなかった分は無料交換をするという画期的システムを展開し、現在では約320万軒もの顧客がいるという。

加えて忘れてはならないのが、セイムス。などでおなじみ、ドラッグストア事業である。コンセプトは「地域で一番信頼されるドラッグストア」。現在、全国で1300超ものグループ店舗があり、一部を除く店舗では処方箋への対応に、医薬品や食料品など、正に地域の人のためにあるドラッグストアと言える。

また、同社では、1986年に富山市に建設された医薬品製造工場に独自に医薬品も製造。配置薬やドラッグストアでも展開、製販一貫体制を確立している。加えて、1991年には、新薬の研究・開発もスタート。2013年には、研究開発した高尿酸血症治療剤「トピロリック®錠」の製造・販売に至っている。



TEAM 2007 後藤 苺衣

全日本ジュニアでは、目標の「優勝」を達成できました！

7月下旬、東海中日ジュニア選手権大会で優勝しました。どの試合もギリギリな展開でしたが、試合の中でしっかり考えながらプレーして勝つことができました。特にファーストサーブの確率、コントロールがよくなったこと、相手のリターンを強打できた点は自分でも良かったと思います。一方で、弾むボールを使って立体的なテニスをする、ネットプレーを確実にポイントにつなげることは課題だと思います。

その点を克服して、と臨んだ全日本ジュニア選手権。目標どおり優勝することができました！決勝まで5試合、苦しい場面もありましたが、良いテニスができたと思います。支えてくださった皆様に感謝しています。ありがとうございます！

TEAM 2007 長谷川 汎奈

全国小学生選手権大会で準優勝することができました！

関東ジュニア選手権大会、全国小学生選手権大会は、どちらも準優勝という結果でした。全国小学生選手権大会準優勝は、結果としては、うれしかったです。クロスの精度が良くなったこと、体力負けしなくなったことは良かったと思います。ただ、前では自信を持って打てなかったり、サーブが入らなくなると崩れたり、と課題も多かったんです。自分のプレーができたと思う試合が、あまりありませんでした。

8月の全日本ジュニア選手権では、準々決勝で敗れてベスト8という結果でした。もっと「前に出よう」「もっと攻めよう」と臨んだのですが、残念です。しっかり切り替えて練習して、課題を乗り越えられるように頑張りたいと思います。

TEAM 2007 辻岡 史帆

全日本ジュニアはシングルスでベスト8
ダブルスでは優勝しました

AFT 須玉国際ジュニアでは、第1シードとして出場しましたが、本戦1回戦負け。優勝した全国選抜ジュニア後、気が緩んでいたんだと反省しました。関東ジュニアでは、目標どおりシングルス、ダブルス共に優勝することができました。ラリー中にロブやアングルショットを使ったり、カウンターショットがうまく打てたり、ネットプレーに出たり、相手のペースをうまく崩すことができたと思います。8月、全日本ジュニア選手権ではシングルスは第1シードでしたが、準々決勝で敗戦。ただダブルスでは優勝することができました。

単に打ち返すだけになってしまう部分もあるところが課題にあるので、スピンの使って相手のペースを崩せるようにすることという部分をしっかり修正したいと思います。



TEAM 2007 井上 季子

全国中学校体育大会
団体戦で優勝できました！

7月中旬、全日本ジュニア中国予選に出場。単複ともに優勝。自分で気持ちを盛り上げて、相手のプレーを分析しながら、試合を進めることができました。大会の中では、ストレートなど、自分から展開するボールをタイミングよく打てたな、と思います。一方で、フォアハンドのテイクバックで、手首が外側を向いてしまうクセが出てしまったので、直していきたいと思います。

優勝を目指していた全日本ジュニア選手権でしたが、シングルスはベスト16、ダブルスはベスト4でした。ダブルスでは、準決勝で辻岡さんのペアに敗れてしまったので悔しかったです。その思いもぶつけた全国中学校体育大会では団体戦で優勝。日本一を味わうことができました。

プログラム OG

齋藤優寧選手が
全日本ジュニア選手権
女子ダブルスで準優勝！



見事準優勝となった齋藤優寧選手(写真右)。同じ尾山学芸館高に通う中島玲亜選手(写真左)とニコリ

チーム2003のOGで現在、岡山学芸館高で活躍する齋藤優寧選手が、全日本ジュニア選手権、16歳以下女子ダブルスで準優勝となった。準決勝では、(同じくチーム2003の)池田涼子選手のペアを破った大会第2シードをフルセットの末に破っての準優勝。存在感を示した大会となった。



TEAM 2005 小林 杏菜

日本代表としてワールドJr.へ
直前にはITFに挑戦しました！

7月下旬、テニスイーロッパの大会出場のため、ドイツに行きました。初戦は1回戦敗退。続く大会では、1回戦で地元選手に6-2、6-1で勝利しましたが、2回戦は1-6、1-6で敗れました(その相手が大会優勝)。レッドクレイに慣れていないこともありましたが、サーブとリターンが強く、ラリーの前に決められる展開でした。

その後、日本代表としてワールドジュニア世界選手権へ。出場機会を得られませんでした。日本は6位で大会を終えました。帰国後は、中牟田杯(U-15全国選抜ジュニア)の予選など、オムニコートの大会が続くのでしっかり対応して結果を出したいと思います。ボレーが上達してきたこと、ダブルスでの反応もよくなったと思うので、試合で結果につなげたいと思います。

TEAM 2006 木下 晴結

全日本ジュニアはダブルスでベスト4に！



関西ジュニア選手権大会は、ベスト8という結果でした。優勝を目指して出場していたので、とても悔しい結果です。相手は自分に似たタイプの選手でしたが、競っていたところで、簡単なミスで2本続けてしまい、流れを持っていかれてしまいました。競っている時こそ、しっかりラリーを続けて甘くなったボールを決めることを徹底しなければいけないと思いました。

そして全日本ジュニア選手権は、シングルスは2回戦負けでしたがダブルスでベスト4になりました。サーブの確率やバックハンドからのストレート、クロスという展開はうまくできていると思うので、課題がうまくできるようになりたいです。



TEAM 2005 木河 優

9月からの
海外遠征に向けて
課題を克服していきます！

6月、タイでITFジュニアに出場しました。3大会に出場し、予選を勝ち抜いたのは1回だけ。悔しい結果でした。帰国後、7月には九州ジュニア選手権大会に出てベスト4。前々ミスは減ってきましたが、メンタルを崩してしまいました。クロスラリーをしつこく続けてから、逆を突くことはうまくできていると思います。一方で、長いポイント後のダブルフォールトやリターンミスが多かったり、精神的に崩れてしまうことが課題です。そして臨んだ全日本ジュニアでしたが、1回戦敗退となりました。

9月から、また海外遠征に行かせていただきます。悪い点をしっかり反省し、いいテニスができるように、しっかり練習していきたいと思っています。

2019年度 富士薬品セイムス ワールドチャレンジプログラム

世界に 羽ばたけ！

メンバー
遠征
奮闘記

「富士薬品セイムス ガールズカップ」で選出された遠征メンバーの中から、その活躍をピックアップ！ 富士薬品のサポートを受け、世界各国の大会にも遠征。腕を磨き、ライバルと戦い、世界に挑む。夢は大きく世界の頂点へ！ ガンバル<金の卵>たちに幸あれ！！

TEAM 2006 齋藤 咲良

ヨーロッパ遠征後、全日本ジュニアで準優勝に



6月～7月にヨーロッパ遠征に行き、テニスイーロッパに出場しました。シングルスはベスト8、ベスト16、ダブルスは優勝、ベスト8という結果です。ドライブボレーで案にポイント奪える回数が増えましたが、決め焦ってミスをするポイントが多かったので反省です。とにかくサーブと攻撃力、この2つがあれば自分でゲームが組立てられるので、そこをもっと磨いていきたいです。

全日本ジュニア選手権は、第1シードとして臨みましたが、とにかく攻めの気持ちを忘れないように、と戦いましたが、決勝で敗れて準優勝という結果でした。

11月にはアメリカ遠征が待っています。攻めの気持ちを大事に、しっかり練習していきたいです。



今年の主役は誰だ！？

富士薬品セイムス ワールドチャレンジプログラム

富士薬品セイムス ガールズカップ 2019

<決勝大会>大宮けんぼグラウンド 2019年9月18日(水)～22日(日)

2019年9月18日(水)～22日(日)、全国10会場で展開中の地域大会を勝ち抜いたプレーヤーが、埼玉・大宮けんぼグラウンドに集結する(観戦無料)！ 今年の主役となるのは、どの選手になるか!? その戦いに注目!!